



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2018年度 業務報告会

部門システム委員会 活動報告

2019年2月4日

部門システム委員会

委員長 大森 巧

- 今年度の振り返り
活動状況について
- 来年度の計画

平成30年度計画

◆病棟看護、部門システムの課題抽出、標準化活動の推進

- ①部門システムの整理と標準化推進
- ②患者安全施策等に関する取組
- ③部門システムの普及・推進

◆病棟看護業務の効率化、患者安全施策の推進

- ①看護・関連マスタ、用語集などの事例収集、積極的活用
- ②病棟に関連したシステム連携の整理・標準化

◆物流業務の効率化、標準化の推進

- ①「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ②医療材料の流通における病院内ICTの検討

◆リハビリに関する医療介護連携の標準化推進

- ①リハビリ計画書連携の電子化検討

各部門システムと電子カルテシステムとの連携を中心に、データやモノの連携・流れをまとめ、教育事業の教材に反映し入門コースで講義を行った。

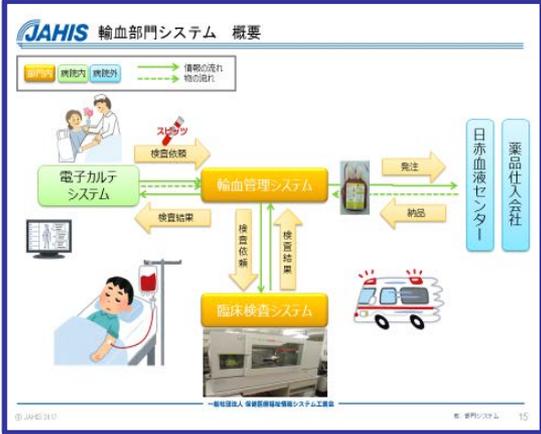


VIII. 部門システム

部門システムとは？ 代表的な部門システムの紹介



IX. 物流システム (院内物流システム)



JAHIS 医療システム部会
部門システム委員会

2. 院内物流システムで取り扱われる製品

病院における物流関連部門（薬剤部・中央材料室などの倉庫部門・用度管理課などの事務部門）において扱う物品は、以下のような多種多様にわたる。

医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）に登録されている商品は約90万品目もあり、各病院で1～2万品目が使用されている。

医療用医薬品	診療材料	体外診断用医薬品
滅菌器材	日用雑貨	事務用品

JAHIS 医療システム部会
部門システム委員会

教育資料より

2018年2月に新しいWGとして設置され活動を開始した。福祉システム委員会・介護システム委員会と連携し厚生労働省老健局との打合せなどの活動を行った。

◆2018年診療報酬の改定

- ・医療保険と介護保険のリハビリテーションの連携を推進するため、様式を共有化
- ・医療機関から介護保険のリハビリテーション事業所への情報提供や、簡略化した様式を使用する場合の評価を新設
- ・**リハビリテーション計画提供料1(新設) 275点**
算定要件 介護保険のリハビリテーション事業所にリハビリテーション実施計画書等を提供した場合
- ・**(医療・介護のリハビリ計画書の様式統一に伴う)電子化連携加算(新設) 5点**
 ※必要書類は「スライド8」参照

以上の動きにより医療サイドのリハビリ計画書を介護サイドに渡す必要が発生した。

厚生労働省からの要請に対しJAHISとしてシステム側でスムーズに対応できるよう協力する方針で部門システム委員会の傘下にWGを設置。

2018年2月に新しいWGとして設置され活動を開始した。福祉システム委員会・介護システム委員会と連携し厚生労働省老健局との打合せなどの活動を行った。

リハビリ計画書データの流れ(①⇒②⇒③)

- ①医療機関(連携データ伝送)
- ②介護・リハビリ事業所(データ登録)
- ③VISIT(通所・訪問リハビリテーション
質の評価データ収集事業)

※VISITについては「スライド7」参照

WG活動内容

VISITセンターは2017年4月より運用を開始。

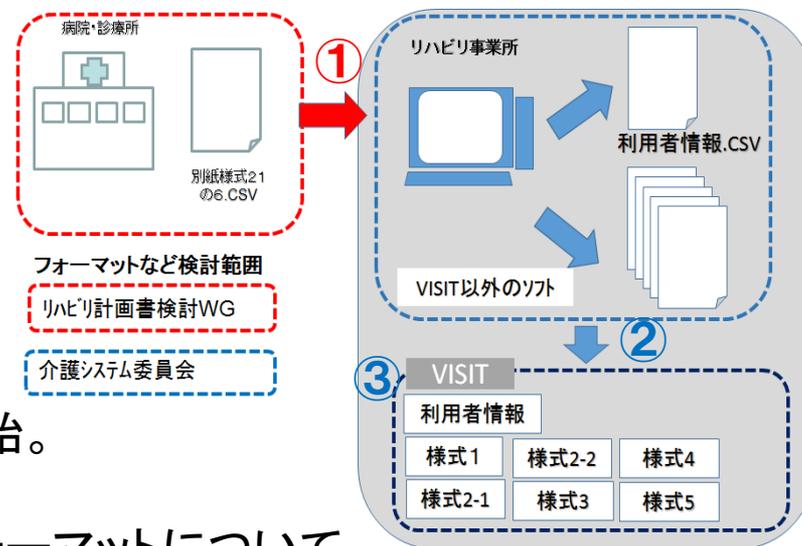
2018年度WG活動

データ連携の基になるCSVデータのフォーマットについて、介護システム委員会と連携して検討およびテストを行った。

2019年度WG活動

正式フォーマットの運用施行予定。運用上の課題に対する疑義照会などを行いより良いシステムへの対応を推進。

データ連携イメージ



通所・訪問リハビリテーションの質の評価データ収集等事業 (VISIT)

データ収集等協力事業所の選定(平成28年度)
 ・都道府県から通所・訪問リハビリ事業所の選定
 (全国で100事業所前後)

事業所の拡大
 ・平成29年度に全国で500事業所前後を選定

通所・訪問リハビリテーション事業所

VISITの導入により、

- ・リハビリテーション計画書の作成支援
- ・リハビリテーション会議の議事録作成支援
- ・生活行為向上リハビリテーション実施計画書の作成支援

SPDCAを用いたリハビリテーションマネジメントの実施



フィードバックされた結果をもとにより質の高いリハビリテーションを提供

リハビリテーションマネジメントに必要な様式を作成し、個人情報以外のデータを電送

データの分析結果をフィードバック

導入支援

ヘルプデスクの設置
 (事業所のシステム導入・運用支援)



事業所支援

電送されたデータはデータベースに収集

データベースを用いて分析

リハビリテーションマネジメントの実態と効果の把握



厚生労働省ホームページ (通所リハビリテーションの報酬・基準について <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000.../0000184011.pdf>) より

現行のリハビリテーションマネジメント等において必要とされる作成書類

医療	点数	作成書類	文書	内容
	+リハビリテーション総合実施計画書	リハビリテーション実施計画書に替えてリハビリテーション総合実施計画書 (廃用症候群では評価表が必要)	リハビリテーション実施計画書 リハビリテーション総合実施計画書	原因疾患、合併症、状態評価、目標、希望、方針
			廃用症候群の評価表	廃用に至った経過、ADL評価、内容、見込み期間
	+目標設定等支援・管理料	+目標設定等支援・管理シート	目標設定等支援・管理シート	発症からの経過、ADL評価、目標、予後見通し、介護保険のリハビリテーションの利用見通し

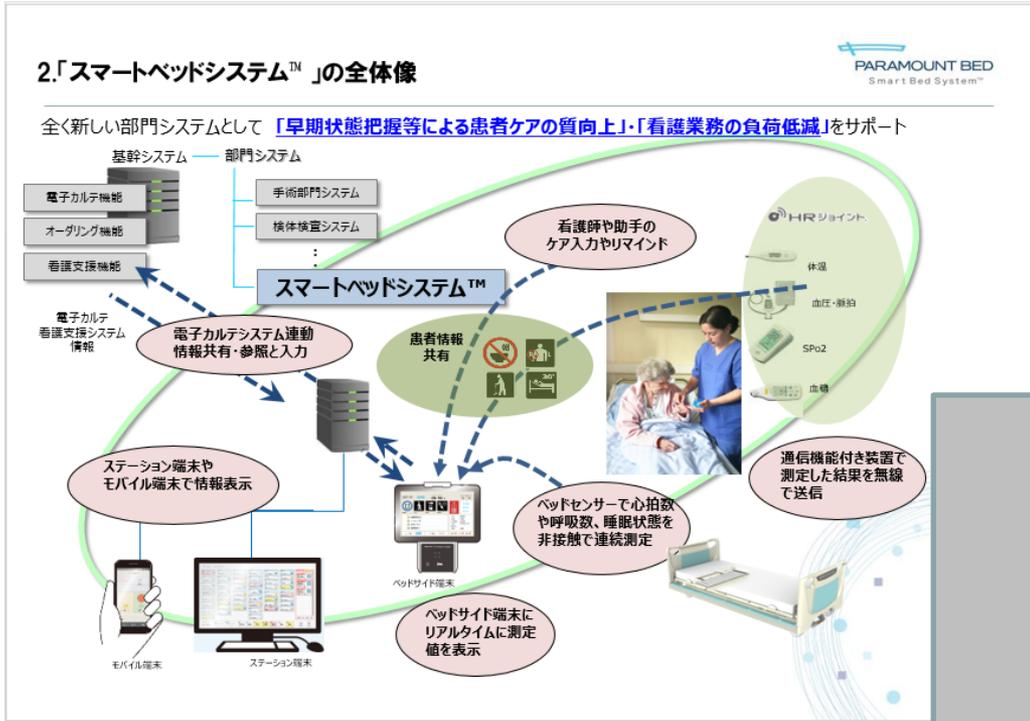
介護	点数	作成書類	文書	内容・表題
	加算等なし	通所リハビリテーション計画	リハビリテーション計画	様式なし(別紙様式2・3を参照して差し支えない)
	+リハビリテーションマネジメント加算		別紙様式1	興味・関心チェックシート
	リハビリテーションマネジメント加算(Ⅰ)	+別紙様式1-3	別紙様式2	リハビリテーション計画書(経過、ADL・IADL評価、目標、リハビリテーション実施内容)
	リハビリテーションマネジメント加算(Ⅱ)	+別紙様式1-5	別紙様式3	リハビリテーション計画書(経過、ADL・IADL評価、目標、リハビリテーション実施内容)
	+生活行為向上リハビリテーション実施加算	+別紙様式1-6	別紙様式4	リハビリテーション会議録
			別紙様式5	リハビリテーションマネジメントにおけるプロセス管理票
		別紙様式6	生活行為向上リハビリテーション実施計画書(通所訓練期・社旗適応訓練期の実施内容)	

厚生労働省ホームページ(通所リハビリテーションの報酬・基準について<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000.../0000184011.pdf>)より

新しい試みとして委員会参加各社から自社で扱っているシステムなどの説明を勉強会として行っている。各社は発表後のブレインストーミングを通じ医療情報システムや部門システムとして自社が気づかなかった課題のヒントを得るなどの効果が出ている。

参加委員による勉強会の実施

- ◆パラマウントベッド社 「スマートベッド」™
- ◆サトーヘルスケア社「MEDITAG」®
- ◆共同印刷社「FullScanCode」®
「セラミックタグ」



当日、モニターでご確認ください。

勉強会資料より (パラマウントベッド様)

<https://www.paramount.co.jp/sbs/index.html>

勉強会資料より (サトーヘルスケア様)

<https://www.hosiden.co.jp/news/other/img/meditag2.pdf>

CONFIDENTIAL

“Full Scan Code”の特長

2

◆ **複数コードを一括で素早く読み取りが可能、オリジナル二次元コード**

- ✓ 当社独自の画像認識技術を活用して、新しい解析アルゴリズムを確立
- ✓ 印刷物でありながら、RFIDタグが得意とする一括読み取り機能を持つ、画期的なコード

【特長1】 複数コードを一括読み取り



- ・コードを一つひとつ読み取る必要がない
- ・複数コード読み取りでの組合せアクションも可能
- 作業時間の短縮に貢献

【特長2】 認識が速い



- 正常
- ほげあり
- プレあり

- ・解析が速い
- ・ほげやブレがあっても認識しやすい
- 読み取り端末をコードにかざすだけで素早く認識

【特長3】 汚れに強い



- ・データ部の誤り訂正が可能
- ・位置検出マークの誤り訂正が可能
- 覆れた誤り訂正能力

【特長4】 柔軟なデザイン対応性



- ・読み取り精度を落とさずに
絵柄や文字を配置可能
- ・デザインに合わせて縦横比の変更も可能
- ・コードに余白が不要
- 可視化による作業効率向上
- あらゆるシーンに活用可能

All Rights Reserved, Copyright © 共同印刷株式会社
この提案書は著作権法および国際条約によって保護されています。弊社に無断で複製や改ざり、コンピュータネットワーク等で送信する行為は著作権侵害となりますので、必ず事前に弊社へご相談ください。

TOMOWEL

④ ブースターアンテナによる機能性タグ

■ 機能性タグに関して

- ・ブースターアンテナ設計のみで通信距離を制御することが可能
- アンテナのみで機能性タグを実現できる



例:
アンテナサイズを変えることで通信距離を長くしたり、短くしたりする



・セラミックタグの置き方によっても通信距離に変化させることができる





例:
セラミックタグを横向きに置くと通信距離が伸び、縦向きに置くと通信距離が短くなる

- ・金属インキを使用することにより印刷にてアンテナ製造ができる
- ・セラミックタグを置く位置に精度は不要(手で置く感覚で問題なく動作→高価な実装機も不要)
- 製造、実装コストが安価でできる

本提案書は著作権法および国際条約で保護されています。弊社に無断で複製やコンピュータネットワーク等で送信する行為は著作権侵害となりますので、必ず事前に弊社へご相談ください。 ©2018 Kyodo Printing Co., Ltd.

勉強会資料より (共同印刷様)

<http://www.kyodoprinting.co.jp/products/it-communication/system/fullscancode.html>

対外活動を通じJAHISのプレゼンスを高める活動や技術文書の普及活動、医療機関現場におけるシステム動向などの情報収集などを行った。

部門システム委員会の対外活動

◆MEDIS

「厚労省標準『看護実践用語標準マスター』普及推進作業班」へのメンバー派遣

◆GS1ヘルスケアジャパン推進協議会

「医療ソリューション研究部会」講師派遣

◆医療製品識別とトレーサビリティ推進協議会 会議へのオブザーバー派遣

MEDIS-DC「看護実践用語標準マスター普及推進作業班」に参加。マスターの普及活動へ協力。

「厚生労働省標準規格」の看護用語
看護実践用語標準マスター 利活用セミナー
 ～標準マスターを上手に使おう！～

一般財団法人医療情報システム開発センターでは、厚生労働省が行う高度医療情報普及推進事業の一環として看護実践用語標準マスターの理解を深めるためのセミナーを開催しています。

日時：2019年2月2日(土) 14:00-16:45

場所：公益社団法人東京都看護協会(新宿区)

参加費：無料

定員に達しましたので
 募集を締め切らせていただきます。

定員150名
満員御礼



日本クリニカルバス学会 2単位 医療情報技師 1ポイント付与



事例として、厚労科研の病床機能班が作成した「回復期移行チェックリスト」とマスターの対応表を作成、システムでの実装要件を抽出した。2月2日のセミナーで活用事例として一部を公開。セミナーでは質疑対応と標準マスターの利用におけるベンダー視点でのアドバイスを担当した。

GS1ヘルスケアジャパン協議会からJAHIS技術文書16-102「HIS向け医療材料マスターの提供ガイドVer1.1」の解説依頼が有り講演した。

依頼資料から

講演依頼のきっかけ



- 日本の医療機器、医療材料、医薬品へのバーコード表示率は世界トップクラス。
- 医療機関でGS1標準バーコードを活用するためには、まだ課題も多い。
- バーコードを活用するためには、マスタの管理が非常に重要。
- しかし、医療材料は、医薬品に比べて点数が非常に多い。
- また、医療材料のGTIN設定は、複数方法がある。

医療材料のバーコードを活用するためには、どのようなマスタを整備する必要があるのか。

HIS向け医療材料マスター提供ガイド



The Global Language of Business

© GS1 2015

9

依頼内容



- **出席者**
医療機器メーカー、自動認識技術メーカー、SPD、医師など
- **依頼内容**
HIS向け医療材料マスター提供ガイドに関する疑問点の解説をお願いしたい。

<解説をお願いしたい箇所抜粋>

【GTIN関連】

P.5 医療材料マスター No.15~20

- ・繰り返し11回としている理由
- ・JANコード（GTIN-13）が個装ではなく、中箱や外箱に設定されている場合、逆に、個装にGTIN-14が設定されている場合の登録はどのように考えるべきか。
- ・JANコードとGTINの区分を設けているが、両者のマスタ上での役割の違いは何か。（JANコード=GTIN-13）



The Global Language of Business

© GS1 2015

10

GS1ヘルスケアジャパン協議会からJAHIS技術文書16-102「HIS向け医療材料マスターの提供ガイドVer1.1」の解説依頼が有り講演した。



2018年9月21日 15:00～

HIS向け医療材料マスター提供ガイド
Ver1.1に関する解説



【講師】

一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会 (JAHIS)
部門システム委員会 委員長 大森 巧 様
物流システム専門委員会 専門委員長 岡本 重敏 様

【内容】

- 1) 物流システムの概要
- 2) ガイド作成の背景・目的の解説
- 3) ガイド全体構成のふりかえり
- 4) 標準化研究WG勉強会での疑問点解説



The Global Language of Business

© 2018

主な当日の参加者

- ・医師
- ・医療機関
- ・医療機器製造業者
- ・医薬品販売業者
- ・医療機器販売業者
- ・SPD受託業者(院内物流請負)など



引き続き「医療製品識別とトレーサビリティ推進協議会」にオブザーバ参加。医療機関現場でのシステム運用や患者安全のトレーサビリティに関する知見を得る事ができた。本年度63号会誌(52ページ)に部門システム委員会からとして概要報告を行った。

本年実施会合 出席者名簿

資料-2

JAHIS 会誌63号表紙

第4回医療製品識別とトレーサビリティ推進協議会 出席者

議長	落合 慈之	東京医療保健大学・学事顧問/NTT東日本関東病院名誉院長
有識者委員	安原 洋	東京大学医学部附属病院・手術部部長 教授
	中田 精三	伊丹市病院事業管理者 市立伊丹病院
	田中 聖人	京都第二赤十字病院 消化器科副部長・医療社会事業部副部長 第二検査部長・医療情報室長
	美代 賢吾	国立国際医療研究センター 理事長特任補佐・医療情報管理部門長
医療団体委員	市川 朝洋	(公社)日本医師会 常任理事
	渡邊 大記	(公社)日本薬剤師会 常務理事
	大道 道大	(一社)日本病院会 副会長(四病院団体協議会代表)
	仙賀 裕	(公社)全国自治体病院協議会 常務理事
	熊谷 雅美	(公社)日本看護協会 常任理事
	土屋 文人	(一社)日本病院薬剤師会 副会長
	中澤 靖夫	(公社)日本診療放射線技師会 会長
	那須野 修一	(公社)日本臨床工学技士会 専務理事
産業団体委員	松本 謙一	(一社)日本医療機器産業連合会 副会長
	森 清一	(一社)日本医療機器販売業協会 会長
関係団体委員	武隈 良治	(一財)医療情報システム開発センター 標準化推進部 主席研究員
	濱野 経雄	(一財)流通システム開発センター 常務理事 GSIヘルスケアジャパン協議会
	山下 尚登	(一社)日本医療機器ネットワーク協会 会長
	小島 謙二	日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 事務局長
	松本 義久	SPD研究会 副理事長
【オブザーバー】		
産業団体関係	高田 義博	日本製薬団体連合会 常務理事
	菅野 正寛	(一社)日本医薬品卸売業連合会 企画調査部次長
行政関係	名越 究	厚生省 医政局 総務課医療安全推進室長
	三浦 明	経済課長
	小林 秀幸	経済課医療機器政策室長
	本間 敏孝	経済課首席流通指導官
	中井 清人	医薬・生活衛生局 医療機器審査管理課長
	上野 清美	(独)医薬品医療機器総合機構 安全第一部長

*議事関連での出席を予定致します。

産業団体関係	岡本 重敏	(一社)保険医療福祉情報システム工業会
	一柳 吉孝	メディエ 株式会社 代表取締役



主催団体一般社団法人「日本医療機器産業連合会」のホームページに關係資料が掲載

<http://www.jfmda.gr.jp/wp-content/uploads/2018/08/869bd41d8bc47b2e17508708c3a4e913.pdf>

(1) 部門システムに係る課題の洗い出しと解決、そのための標準化活動の推進

- ① 部門システムの連携を促進するための課題洗い出しと解決
- ② 教育事業などを通じ部門システム関連の知識の普及活動

(2) 病棟看護業務の効率化、関連システム連携の標準化模索

- ① MEDIS-DC看護実践用語標準マスタ普及促進
- ② 病棟部門に関連したシステム連携の整理・標準化の模索

(3) 物流業務の効率化、標準化の推進

- ① 「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の普及推進
- ② 「HIS向け医療材料マスタの提供ガイド」の改版に向けた情報収集と方針策定
- ③ 医療用資材(医薬品・医療材料など)の院内物流のICT適用モデルの考察
- ④ 院内物流の実態調査・現場情報のヒヤリングなどを通じ新たな標準化課題の模索

(4) リハビリなど医療側からの介護連携に関連する標準化模索

- ① リハビリ計画書連携の電子化検討の推進



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました